

オリンピックと一冊のノートから

教務主任 大野 宏子

テレビに向かって、何度、拍手をしたことだろうか。

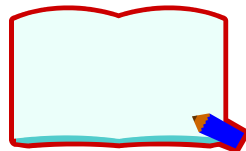
祈るような思いで見っていた平昌冬季オリンピック、羽生選手の演技。最後のポーズを決めた瞬間、点数が出た瞬間、そして、金メダルが確定した瞬間。自然と大きな拍手を贈っている自分がいた。一夜明けた会見で、平昌のリンクに立つまでの苦しい胸の内をようやく明かしたものの、どのインタビューでも、滑ることができる幸せや感謝の気持ちが、語られる言葉の多くを占めていた。そんな映像と同時に、羽生選手の勝利への強い気持ちが綴られた練習ノートの一部が映し出された。

それを見て、ふと思い出したのが一冊のノート。全くレベルが違って、並べて書くのも羽生選手に失礼なのだが、自分が学生時代続けてきた陸上競技の練習ノートが、一冊だけ手元に残っていた。中学生のときのものであるが、手にしてみると、その中にある自分は、思い通りの走りができない歯がゆさや、足の痛みなど弱音ばかり吐いていた。大人になって目を見ると、その頃の自分に、「もっと前向きに頑張れ!」と言いたくなる。当時の先生のコメントには「自分に負けるな」「どこに意識をおくか考えて」…。メンタルに関わる言葉があちこちにあった。

そのノートの中に、ある合宿での講話の内容が記録されていた。

当たり前のことを「非凡」な努力で!

- 1 やらされている段階
- 2 自分でやる段階
- 3 感謝して、陸上をやらせてもらっている段階



と、3番目に何重にも○をつけている。当時の私には、それをどれだけ理解していたか定かではないが、今、見てもどきっとする言葉である。

ついつい、日常に流され、毎日をただこなしているものになっていないだろうか。そう、自問自答しながら、当たり前のことを大切にしていくこと、小さなことにも支えていただいていることに感謝する気持ちや、今ある自分を幸せに感じる心を持ちながら、日々過ごしていきたい。そんなことを改めて思う機会をもらったこのオリンピック。そして、このノート。時折、手にして自分を見つめてみよう、ずっと奥の方に眠っていたノートを、本棚のすぐ手が伸ばせる場所に移した。

能町っ子のようす

本校ホームページより

1月22日(月) 6年生スキー学習



イオックス・アローザスキー場で行いました。今年は絶好のコンディションで滑ることができました。賛助会で買っていただいたゼッケンを着用して学習しました。

一日でずいぶん上達しました。楽しかったですね。講師の先生方、有り難うございました。

1月26日(金) なわとび大会

今日に向けて、「チャレンジなわとびの星」と題して、休み時間も練習してきました。

一人で挑戦する「短なわ・種目跳び」と「大なわ・1回跳び」です。多くの方が自己ベストを更新しました。真剣に競技する姿はとても素晴らしかったです。



1月29日(月) 5年生スキー学習



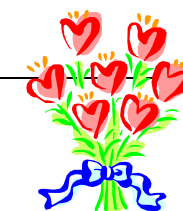
6年生と同様にイオックス・アローザスキー場に行ってきました。学校を出るときは雨でしたが、スキー場では雪でした。

スキーが初めてという児童もいましたが、何回転んでもやる気を出して練習しました。楽しいスキー学習でしたね(^_^)v

2月16日(金) 授業参観

1年生：「できるようになったよ」発表会、2年生：じぶんものがたりをはっぴょうしよう、4年生：2分の1成人式をしよう、6年生：保護者への感謝の集い を行いました。

感謝の気持ちを伝える授業が多くありました。卒業式まで、あと一ヶ月になりました。





各学年だより

より

<第1学年> ★がんばったよ！初めてのなわとび大会★ (子供達の感想より)

- ・ ふゆ休みにできるようになったので、もっとじょうずにとべるようになるように、いえでれんしゅうをしました。いままでで1ばんおおくとべてうれしかったです。
- ・ たんなわでは、と中でともだちががんばれといってくれたから、力が出せました。ながなわでもみんなでこえをだしてがんばれてよかったです。
- ・ れんしゅうのときより本ばんでたくさんとべてうれしかったです。これからいっぱいれんしゅうして、またらいねんのなわとび大かいでは1いになりたいです。

<第2学年> ★がんばったよ なわとび大会★ (子供達の感想より)

- ・ 五年生さんの応援のおかげで大縄跳びで優勝できました。このチームで優勝したことは、絶対に忘れたくないです。とても最高の日になりました。
- ・ 短縄では、後交差跳びをしました。始まったときは、心臓が破裂するくらいに緊張していました。でも、最高記録の35回跳べたので、とてもうれしかったです。
- ・ 大縄跳びでは、「1位になるぞ」と気合いを入れました。縄に引っかかっても誰も責めませんでした。3位だったけど、みんなで協力して最高記録を出せてうれしかったです。

<第3学年> ★なわとび大会、がんばりました！★ (子供達の感想より)

- ・ 大縄は、みんなで力を合わせて、一回もミスなく跳べて、最高記録を出せてとてもうれしかったです。また、4年生でもがんばりたいです。
- ・ 大縄を、私が回しました。最初はうまく回せませんでした。みんなが「もっとゆっくり」と言ってくれたり、みんなが跳びやすいペースを教えてくださいました。だから、とてもがんばれました。
- ・ 最後まであきらめずにできて、うれしかったです。大縄も、楽しく声を出して跳べたのでよかったです。悔いを残さずできたので、自分では100点かな、と思っています。

<第4学年> ★ベストを尽くしたなわとび大会！★ (子供の日記より)

- ・ 本番の日、心の中で絶対上位に入ってやるぞという気持ちでとび、結果は34回で、最高回数でした。思わず「やった！」と言ってしまいました。
- ・ 短なわは毎日練習した自分を信じて二重とびに挑みました。一番よい記録が出てホッとしました。
- ・ 今年は大なわを回す役になりました。Bチームはケンカもあったけど、みんなで協力して順番を決

めて、何度も何度も練習しました。そして本番では、油断せず一生懸命頑張りました。1組のAチームは新記録を出し、Bチームは引っかかる回数が少なく、勝つことができました。うれしさのあまり泣いてしまいました。本当にうれしかったです。

<第5学年> ★子供たちの日記より★

- ・ 初めてのスキーでしたが、講師の先生にいていねいに教えていただいて、短時間でたくさんの技を覚えることができました。ストックの持ち方やスキーのはき方から、急な下り坂での止まり方、スピードを出してすべる方法を教えてもらいました。とても、充実したスキー学習になりました。(スキー学習)
- ・ 書初大会で「平和な里」を書きました。「な」は、4画目の結びを丸くなるように筆の運びを工夫しました。「里」は、たて線が長くなりすぎないように気を付けました。すると、本番ではきれいな字が書けました。そして、金賞に入りました。たくさん練習したおかげだと思いました。(書初大会)

<第6学年> ★最後のスキー学習★ (子供の日記より)

- ・ 今年のスキー学習は、とても楽しく充実したものになりました。今日の1日でとても上達したと思います。
- ・ 一番印象に残ったことは、頂上から下まで滑り降りた時に、目の前に山が連なり、その下に砺波平野が広がっているきれいな景色を見ながら滑れたことです。
- ・ 去年のスキー学習以来、スキーをしていなかったのもとても不安でした。始めに、下のゲレンデで何度か滑っているうちに怖さが楽しさ変わっていきました。

【授賞等の記録】

・ 青少年読書感想文富山県コンクール

高学年の部（自由読書）最優秀賞（県代表） 6年 金谷 俊哉
 中学年の部（自由読書）優秀賞（県入選） 3年 橋詰 彩葉

・ 富山県小中高校生書初大会

推選 2年 今井 秀斗 6年 林 和可
 特選 1年 新明 初奈 1年 炭山 真那 2年 鈴木 弥子 3年 小豆 桜愛
 3年 藤原 秀憲 4年 松長 杏香 4年 浅田 詩織 5年 浅田 琴美
 5年 穴田 美樹 6年 能松 凜

・ 小学生図画コンクール 富山第一銀行奨学財団賞 1年 新明 初奈

富山ファースト・ディーシー賞 2年 今井 秀斗

・ 高岡市学校教育振興会表彰 1年 今村 晃輔 4年 泉 佑樹 5年 高桑 沙希

6年 前田 ミチル 6年 金谷 俊哉